



『現代フランスの流通と社会
—流通構造・都市・消費の背景分析—』

田中 道雄
流通科学部 教授 共著
ミネルヴァ書房



『トレーニング生理学』

角田 聡
経済学部 教授 共著
杏林書院



『分子の目でみた骨格筋の疲労』

角田 聡
経済学部 教授 共著
ナッブ



『謀略の思想「反ケインズ」主義
—誰が日本経済をダメにしたのか—』

丹羽 春喜
経済学部 教授 著
展転社



『発想を変える、英語が変わる。』

中川 準治
経済学部 助教授 著
三修社



『保険契約の告知義務』

中西 正明
法学部 教授 著
有斐閣



『地域研究序説』

小林 泉
国際学部 教授 著
晃洋書房



『ミクロネシアの日系人』

小林 泉
国際学部 教授 著
太平洋諸島地域研究所



『古代王権の誕生
—Ⅲ 中央ユーラシア・西アジア・北アフリカ編—』

渡辺 千香子
国際文化学科 助教授 共著
角川書店

大阪学院大学広報

L'horloge ロルロージュ No.123
November 2003

- 発行 大阪学院大学
大阪学院短期大学
- 編集 広報部

〒564-8511
吹田市岸部南二丁目36番1号
☎(06)6381-8434(代表)

URL
<http://www.osaka-gu.ac.jp>

編集後記

今年は動力飛行機が誕生して100年という記念すべき年である。アメリカのライト兄弟が、1903年12月17日にフライヤー号の初飛行を成功させたのである。おもしろいことに、兄弟は小さな自転車屋を営みつつ新分野への実験を重ねていたのだ。小企業が飛躍を遂げる例は日本にもあるし、大阪はこの点で有名だ。日本経済復活のばねとなるベンチャー企業勃興を期待したい。

ところで、航空機の進歩によって国際交流が著しく発展した。最近、関西でも外国からの観光客を頻繁に見掛ける。駅などの表示も外国人向けのものがずいぶん増えた。本学は国際交流に力を入れており、学生諸君も熱心に学んでいる。本誌もこの点について大いに記事を掲載していきたい。

L'horloge

Osaka Gakuin University
Public Relations Bulletin

ロルロージュ No.123
November 2003

ESSAY

吉村 秀幸

FOCUS

教育懇談会

特集

来春4月

「大阪学院大学 法科大学院」
開設

遠隔教育への取り組み

VOICE

新たな自分を探し求めて

CAMPUS LIFE

CAMPUS NEWS DIGEST

INFORMATION

新刊紹介

ESSAY

10

『楽しみと悲しみのケンブリッジ』

あの角を曲がると、古い教会の前に「おばちゃんの店 (Auntie's)」というスコーンのおいしい店がある。注文すると伝統的なエプロン姿のウエートレスが温めて出してくれる。隣の一階は普通の土産屋だが、二階は様々なカレッジのロゴマーク（紋章）が入ったトレーナーやセーターなどを専門に扱っている。あまり名の知られていないカレッジの服でも「2～3日あれば調達しますよ」と誇らしそうにおばさんは言った。路地を北に上がると、少し右にカーブする。セント・ジョーンズ・カレッジ前にある「醜いアヒルの子 (Ugly Duckling)」という変わった名前の、見過ごしてしまいそうな小さな中華料理店。「地代が高すぎて、客が入っている割にはもうからない」とこぼしていた経営者の中国系のおじさんやウエーター、ウエートレスは元気だろうか。おじさんは「日本食の店を開きたい」と言っていたが……。



自分の生まれ育った町以外に、だれしもこのような町がある。私にとって、ケンブリッジは楽しい思い出と同時に悲しい思い出が詰まった町なのである。

イギリスの略図をかく場合、東を向いたうさが耳を前傾させてお尻座りしている姿のシルエットをかくことになるのだが、その曲げたひざの部分に当たるのが、イースト・アングリア地方である。中心となる町はノリッジである。日本の中国地方に例えると、ノリッジは官公庁の出先が多い広島といった感じになるのだろうか。そうなるとケンブリッジは、岡山、松江や山口に相当する町になる。

ロンドンから北東に列車で約1時間の所にケンブリッジは位置する。私は前任校を含めて3回も学生たちを引率する機会に恵まれた。学生たちは、自由時間になるとロンドンへ出かけるのを楽しみにしているが、私自身はこの町のほうがいい。大都市ほど人間がぎすぎすしておらず、見どころのカレッジ以外にも、文化の香りや緑が町の内外にあふれている。自動車がなくとも、自転車や徒歩で回ることができる。

1997年8月、リサがイギリスから電話をかけてきた。いつもの調子で明るく応じると、「こここのところ体調が悪かったのは肝臓がんのせいで、今日は自分の好きだった人やお世話になった人に、ひょっとしたら最後になるかもしれない電話をしているの」と言った。本人を目の前にしていたら、「そんなよい顔色をしてるのに……」とか、こちらなりの弁護をして慰めることができるのだが、何しろ電話である。本人がそう言っているのだ。声の調子にもきざんとしたものがあ、表面上の慰めの言葉は許さない語調であった。慰めはやめてじっと受話器を握り締めた。日本への旅行が、彼女の生涯でいちばんの思い出となったことなどを話してくれた。

リサと知り合ったのは、1993年の夏であった。前任校で学生をケンブリッジ語学研修に引率したのだが、リサはそのとき学生たちに英語を教えてくれた教師の一人であった。若いうちは、ケンブリッジから30分ほどのイーリーという町にあるパブリック・スクール（私立の中学・高校）の教師で、結婚して二人の息子をもうけたが、離婚。息子た



吉村 秀幸 外国語学部 助教授
主担当科目：英語学概論、英作文Ⅰ、英語講読Ⅰ
趣味：旅行
著書：『英語にみる性とことば』（関西大学出版）訳書



ちは独立し、今は一人で暮らしている。個人やグループ単位で英語を教えて生計を立てており、ケンブリッジから車で1時間くらいの町、エクスニングで猫と暮らしている。競走馬の町として有名なニューマーケットにも近い町である。

ある日、私ともう一人の引率者が学生の授業中に仕入れに出かけたのだが、その間に学生の一人が、慣れない環境のせいで気分が悪くなってしまった。我々が教室に戻ると、すでにリサと学生はいなかった。その後、リサから電話で、「すぐに元気になったので心配しなくていいですよ。今夜はホームステイ先には帰さず、自分のところで休ませてでもいいかしら」と話してくれた。リサは学生を自分の家に連れて帰り、食事から何からすべての世話をしてくれたのである。彼女は、研修プログラムの現地コーディネーターに雇われた一教師にすぎないにもかかわらず、自分の責任以上のことをしてくれたのである。引率者として、とてもありがたい気持ちであった。しかも、その後も恩着せがましいことも言わず、淡々と学生を教え続けた（イギリス人はこのようにさりげないそぶりで親切にするのがいきだと感じるようになってきた）。これを機会に、私と彼女はぐっと親しくなった。リサは、1994年にシンガポール経由で来日し、大阪・京都に滞在、初めてのアジアへの旅に感激した様子であった。彼女の長男は、シンガポールで韓国人の奥さんと暮らしている。私が、お孫さんのお尻に「モンゴル斑」が出るかもしれないことを教えると、とても楽しみにしていた。翌年、1995年の引率の際にも、リサはまた教師として学生を教えてくれ、自宅にも招いてくれた。二軒長屋の自宅はつつまじやかな家であるが、隣家の牧場に面していて、とにかく緑に囲まれていた。リサは、自宅とバッキンガム宮殿を交換してやると頼まれても断ると笑っていた。朝起きると庭先で子馬が誕生していたとか、馬の難産を手伝ったとか、その後もうれしそうに手紙で知らせてくれた。

あの電話から3か月もしないうちにリサが亡くなった。次男からの手紙で知らされたのだが、ショックで電話もかけられなかった。残った息子二人に慰めの手紙も書けなかった。2001年、大阪学院大学に移って3年目の夏、3度目のケンブリッジ引率の機会が巡ってきた。時間を見付けてリサのお墓参りができるかもしれないと思った。仕事の合間に、住所だけを頼りに自転車をこいでケンブリッジ郊外のリサの次男の家に行ってみると、留守であった。置き手紙を置いて帰ると、私の滞在先のウルフソン・コートに電話があった。次男は現在シンガポールの長男夫婦のところに長期滞在しているそうである。電話の相手は留守中の借家人であった。その後、シンガポールに電話したり、リサの元ご主人などに電話したりして彼女の最期の様子を知った。遺言により、リサの遺骨は灰にして、イーリーの原野にまかれたそうである。リサが生涯好きだった町である。お墓参りをして、自分の気持ちに区切りをつけたいと思っていた私にはショックであった。『マディソン郡の橋』などの影響か、散骨は奇異なものになってきていたが、自分の周りで起こるとは予想していなかった。シンガポールの長男の妻も、「私たちアジア人としては、お墓がないのは考えられませんよね」と電話で私を慰めてくれた。私はイーリーの原野に立ってお墓参りに代えた。



次回2月号のESSAYは、金丸 輝康 流通科学部 助教授にお願いします。お楽しみに！

FOCUS

～ 教育懇談会 ～



教育懇談会にご参加いただいた皆様に、学生の「出席状況表」と「成績表」を配付し、これらをもとに修学状況・学生生活・就職などのご相談やご質問にお答えしています。今回は、皆様から特に多くいただいた質問をまとめてみました。ご参加いただけなかったかたも、ご参照ください。なお、ご質問・ご相談は随時受け付けておりますので、各事務室までご遠慮なくお問い合わせください。

事務取扱時間
月～土曜日 9:00～17:00

Q. 修得単位数の目安を教えてください。

A. 試験の結果、合格点に達していれば、その科目の単位を修得したことになります。卒業に必要な単位数は128単位です。

4年間で卒業するための各年次終了時における目安となる修得単位数は、次のとおりです。

年次（終了時）	1年次	2年次	3年次	4年次
目安となる修得単位数	34～40	66～76	104～122	—

Q. 今年から「キャリアアッププログラム」が開講されたと聞きましたが、どのようなプログラムですか。

A. 「キャリアアッププログラム」とは各業界で必要とされる実務に重点をおいた教育を行い、実社会において即戦力として活躍できる人材の育成を目的としたプログラムです。

平成15年度はまず「ホスピタリティコース」を開設しました。これは将来、ホテル・旅行会社・外食産業など、ホスピタリティ産業への就職を希望する学生を対象としたコースで、日本航空によるJALツーリズムプログラムの科目などを開講し、JAL、ハイアット・リージェンシー・オーサカでのインターンシップも実施しました。今後はリーガロイヤルホテル、富士屋ホテル、JTBなどでのインターンシップを予定しています。

【学生関係】

Q. 課外活動について知りたいのですが。

A. 現在、本学には体育会系・文化会系・独立系合わせて56のクラブと75の公認サークルがあり、全学生の約3割が所属し活動しています。なかでも関西1部リーグで活躍しているゴルフ部・サッカー部をはじめ、硬式野球部・陸上競技部・アメリカンフットボール部・バスケットボール部・バレーボール部・ラグビー部・リーダー部・チアリーダー部・吹奏楽部・混声合唱団の12のクラブを「ユニバーシティクラブ」と呼び、大学の代表として活躍しています。

自ら積極的に活動する課外活動は、大学生生活に豊かな潤いを与える大切なものであり、学生たちの参加を大いに奨励しています。

【奨学金関係】

Q. 奨学金にはどのようなものがありますか。

A. 大きく分けて2種類の奨学金があります。一つは給付型奨学金で、大阪学院大学・大阪学院短期大学奨学金がこれに当たります。もう一つは貸与型奨学金で、日本育英会奨学金、そのほか地方自治体・公共団体の奨学金があります。

奨学金によって募集時期、採用人数、給付（貸与）金額、応募（採用）条件、継続条件、返還・免除条件（給付型を除く）などが異なりますので、詳細については学生課または募集団体にお問い合わせください。

Q. 留学にはどのようなものがありますか。

A. 大学が実施しているものとして、短期の海外研修と交換留学の二つがあります。海外研修には語学研修（英語・仏語・独語・中国語）、スポーツ研修、インターンプログラムがあります。交換留学は、約1年のプログラムで、海外（アメリカ・フランス・ドイツ・スウェーデン）の九つの大学に学生を派遣しています。

Q. 語学研修はどのような内容になっているのですか。

A. 基本的には、午前中が語学レッスン、午後はアクティビティーや自由行動となっています。コースによっては午前と午後の両方とも授業があるものもあります。また、滞り場所もコースによって、学生寮とホームステイがあります。

Q. 語学研修・インターンプログラム・スポーツ研修に参加すると単位の認定があると聞いたのですが。

A. 2単位が認定されます。ただし、同一の研修に2回以上参加しても単位は認定されません。

Q. 海外インターンプログラムは何年次に参加するのがよいのですか。

A. 海外での実務体験なので、就職活動を始める前までに参加するとよりよいでしょう。将来就職を希望する職種や興味のある分野のプログラムがあれば、積極的に参加してください。

Q. 交換留学の選考基準を教えてください。

A. 出願資格として、本学での成績の平均がB以上であることが求められます。また、フランスとドイツへの留学の場合はそれぞれの言語の筆記試験があります。英語の場合はTOEFLまたはITP（TOEFL模擬試験）を事前に受験して、規定のスコア以上を取得しておく必要があります。

Q. 交換留学した場合、4年間で卒業できますか。

A. 交換留学中に留学先の大学で修得した単位は、60単位（短大は30単位）を超えない範囲で、卒業必要単位として認定されますので、2年次生、3年次生の夏に出発する場合は4年間で卒業が可能となります。ただし、3年次生の秋に出願して4年次生の夏に出発する場合は卒業が半年遅れます。

Q. 短期大学生は交換留学できますか。

A. 出願資格を満たしていれば、1年次生の秋の出願が可能です。合格した場合は2年次生の夏に出発となりますので卒業が半年遅れます。

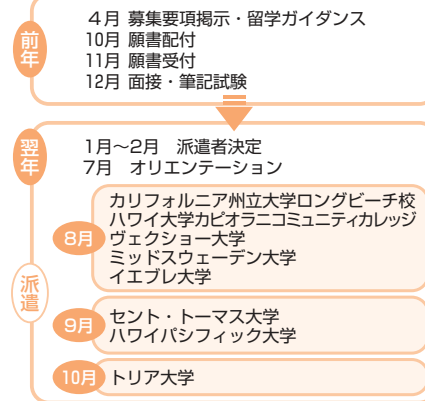
Q. 交換留学中の学費はどのようにになりますか。

A. 留学期間中は本学での学費のうち、授業料の半額が免除になります。また、留学先大学での授業料は免除されます（または無料になります）。大学によっては寮費や食費が免除されることもあります。

Q. 海外研修や留学は就職に有利になりますか。

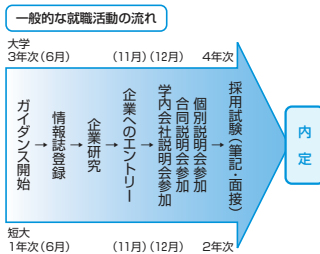
A. ただ単に研修に参加した、留学をしたということでは就職に絶対的に有利になるとはいえないでしょう。研修に参加したことで、どのように自分にプラスになったか、留学をしてどれだけ語学力を身につけたか、具体的に何を学び、どのような経験をしてきたかなどを自分なりに分析して客観的にアピールすることが大事でしょう。

交換留学スケジュール



- Q. 大学院に入学したいのですが、どのようにすればよいでしょうか。
- A. 5月上旬の学内選抜試験と、9月下旬および2月上旬の一般選抜試験があります。学内選抜試験を受ける場合は、まずゼミナールの先生とよく相談してください。
- Q. 本学の入学試験について教えてください。
- A. 学内選抜試験は、一定の条件を満たし、当該学部長から推薦を受けた人が受験できます。選考方法は、書類選考および面接・口述試験です（学科試験免除）。一般選抜試験の選考方法は、筆記試験と面接・口述試験です。

- Q. 就職センターはどのようなサポートを行っているのでしょうか。
- A. 就職センターでは、学生が初めて体験する「就職活動」について多岐にわたり支援していく体制を整えています。実際、活動をして初めて学生も認識することですが、大学4年次生（短大2年次生）になって6月にもなると企業の大半が採用を終えているのが現状です。そこで気がついてもうかなりのハンデを背負うことになるため、就職センターでは大学3年次生（短大1年次生）の夏休み前から、「就職ガイダンス」「模擬試験」のほか各種行事を開始し、年内に就職試験に必要な準備をしていただき、就職活動本番に備えるように個別相談・模擬面接等も併せ、一人ひとりの就職への取り組みに対してサポートしています。
- Q. 企業が求める人物像とは。
- A. 「7・5・3離職」という言葉が示すように、せっかく内定が取れても早期に離職するケースが増加しています。これは、企業の選考のオープン化やWebの進展により、学生が「本当の仕事の中身」を理解せずに入社した結果に起因するところがある大きな要因と考えられます。また、学生の自己評価は相対的に企業側より甘く、選考においてあらかじめ想定した回答を伝えることで満足し、企業側は学生のコミュニケーション不足を嘆いています。これから特に求められる人材として「即戦力」はもちろんのこと、入社するための努力ではなく、入社してからどういうビジョンを持って仕事に取り組むかという姿勢や意欲が問われています。



懇談を終えて ～保護者の皆様へのお願い～

今年度の教育懇談会は、例年になく学生同伴でお越しいただいたケースが目立っていたように思います。その中でも、新入生の保護者のかたの懇談が多かったのは、将来の進路である「就職」に対して漠然とした不安をお持ちである表れではないでしょうか。昨今、卒業後の進路は全国的に新卒での就職が6割前後の時代になり、進路も多様化していますが、「若いうちに自分の好きなことをやればよい」という論理から「フリーターは反対だけど、専門学校・留学なら賛成」という問題解決の先延ばしだけは避けるようにご指導いただければと思います。

今、学生は、自分の会社は倒産することはないと信じていることができた世代とは違い、先の読めない不透明な時代転換の中で模索しているのが現状です。そのような中、「学校から社会へ」という変容過程において、将来設計の中に未来を描くのがますます困難になっているのではないのでしょうか。

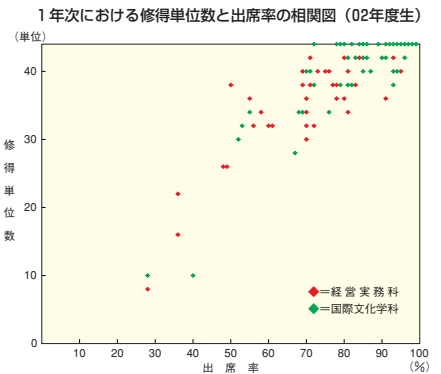
しかし、人生の分岐点にいる彼らは、就職活動を通して自分と向き合う中で多くの壁に直面していきませんが、自分なりの答えを探しているのです。相談相手がいないまま成り行き任せしていると、八方ふさがりになるケースも少なくありません。そこで頼りになるのは就職センターや教職員はもちろんのこと、身近にいるご家族の役割も重要です。親が就職に対して無関心あるいは過干渉なのは、子どもにとってはどちらもマイナスですが、この就職活動を迎える時期に社会人である保護者のかたの職業・仕事の中身を話されてみてはいかがでしょうか。親の働いている姿を近くで見る機会を持つ学生は少ないため、話してみないと全く理解できません。親の期待の押しつけでなく、ささいなことでも意見交換することで何らかの活路を見いだされることは必ずあると思います。

- Q. 就職に有利な資格を教えてください。
- A. 就職に絶対有利な資格というのではなく、進路設計に合わせた資格取得が大切です。一般に実務能力が必要とされる情報処理（パソコン）関連資格は、ぜひ取得することをお勧めします。エクステンションセンターでは「MOUS」、「初級システムアドミニストレーター」、「基本情報処理技術者」の受験講座を開講しています。また、会員制のマルチメディア施設「MELOP（メロップ）」では、コンピュータ初心者向けの基本操作から応用まで、実務に役立つ多様な講習会を常時実施しています。
- Q. どのような種類の講座を開講していますか。
- A. 生活・教養コース、語学コース、健康・スポーツコース、マルチメディアコース、就職対策コース、資格取得コースを設定し、在学生だけでなく、保護者のかたにも楽しく受講していただけるように多種・多彩な講座を開講しています。詳しくは「講座ガイド」をご参照ください。

- Q. 配付された「成績表」の成績で卒業はできますか。
- A. 本年度前期までに修得した科目の成績ならびに修得単位数を一覧表にしたものが「成績表」です。前期試験（7月に実施）の結果についても、履修結果（不合格科目・未受験科目を含む）として表示しています。
- 統計では1年次前期で16単位以上修得していれば、98%の学生が卒業していますが、10単位を下回ると卒業が危ぶまれます。短期大学は各学期に履修できる単位数の上限（登録制限単位数：22単位）を定めています。そのため修得した単位数によって卒業単位数を充足できなくなる場合もあるため、各学期とも順調に単位を修得する必要があります。
- 修得単位が少ない場合は、授業に出席することはもとより、より一層勉学に励むよう家庭でもご指導いただきたくお願いいたします。
- 2年間で卒業するための各学期における目安となる修得単位数を、下表に示しておりますのでご参照ください。

年次	1年次		2年次	
学期	前期	後期	前期	後期
目安となる修得単位数	18～20	38～40	56～62	—

- Q. 授業はどのくらい出席すればいいのですか。
- A. 大学の授業は90分間ですので、その情報量は非常に多く、授業を1回休んだだけでも次回の授業についていくのが大変です。また、単位の修得には授業時数の3分の2以上の出席を必要としています。統計的にも70%以上の出席率による平均の修得単位数は41.2単位（02年度生1年次終了時の平均修得単位数）、70%以下では28単位となっており、1年次終了時の目安となる修得単位数を大きく下回ります。このことから授業に毎回出席することを心掛け、教科書をあらかじめ読んだり、授業内容を整理するなど、自宅での学習に努めるとともに、分からない箇所があれば授業の空き時間等を利用して担当教員に質問するなど、積極的に取り組んでいくことが大切です。
- 出席率と修得単位数の関係を示すため、2年次生全員の1年間の平均出席率（横軸）による修得単位数（縦軸）を分布図にしております。この図から出席率と修得単位数との密接なつながりがお分かりいただけると思います。



短期大学では、10月末に保護者のかたへ成績表・出席状況表を送付しておりますので、教育懇談会に欠席された場合のご参考としてご利用ください。

社会・経済の国際化に伴い、企業の活動はますます複雑化、多様化し、特に法化社会のもとでは高度なリーガルサービスが求められています。そのためには、国際的な視野を持った企業法務の専門家養成が強く求められ、京阪神地区、特に我が国第二の都市である商業都市 大阪では、そのニーズは今後一層高まることが予測されます。

こうした状況に応えるため、本学では、来春4月「法科大学院（大学院法務研究科法務専攻）」を開設します。

本学は昭和15年 関西簿記研究所として創立以来、「視野の広い実践的な人材の育成」を建学の精神に、特に税務・会計分野で多くの優秀な人材を輩出してきました。こうした伝統を受け継ぎ、総合大学として先進のIT設備や豊かな研究環境を十分に活用して、社会に広く貢献する法曹の育成を目指しています。

本学の法科大学院の特色は「法理論と法実務を架橋する実践的な法学教育を行うことにより、高度で専門的な職業能力を有する法曹の養成に寄与する」という目的のもと、「企業法務・国際企業法務に特化した法曹教育」を目指し、多様な職業経験を積んだ目的意識の高い社会人を積極的に受け入れるところにあります。

そのため、大阪・梅田から電車で約15分という交通至便な立地環境を生かすとともに、全国的にも珍しい「昼夜開講制」を採用します。具体的には、開講日を火曜日～日曜日までとし、火曜日～金曜日までは午後4時10分～午後9時、土・日曜日は午前10時40分～午後9時までの昼夜開講という時間割で、仕事を持つ社会人でも無理なく学べる体制を整えます。

また、教員陣、教育施設等も充実しています。教員陣は民法学の第一人者をはじめ実務家教員5人を含む、14人の優れた専任教員をそろえています。講義科目、演習科目ともに少人数制を採用し、対話式の「ソクラテス・メソッド」や具体的事例を基にした「ケース・メソッド」、問題の具体的解決法を考える「プロブレム・メソッド」を取り入れ学習効果を高めます。併せて若手弁護士によるチューター制も採用し、学習意欲に合わせた個別指導を積極的に行い、きめ細やかな教育を実現させます。施設面では14号館において、大小2室の自習室や自習兼資料閲覧室を含んだ図書室、相談室（兼チューター室）等を設置します。

本学の法科大学院の開設意義とその特色をご理解いただくとともに、次代の法曹への熱いチャレンジを期待します。

平成16年度 法科大学院募集概要

- 募集人員：50名（平成16年度は法学既修者認定試験を実施しません。）
＜A方式（社会人入試）の最低入学人数15名＞

- 出願期間：平成16年1月13日（火）～1月23日（金）

- 試験日：平成16年2月11日（水・祝）

- 出願資格：独立行政法人 大学入試センターの平成15年度法科大学院適性試験を受験した者のうち、次の各方式に定める出願資格に該当する者。

A方式（社会人入試）

大学卒業後、出願時まで2年以上企業、地方自治体その他公共団体に勤務した経験を有する者または自営の経験を有する者。

B方式（一般入試）

大学を卒業した者、または平成16年3月卒業見込みの者など。

- 試験科目：A方式（社会人入試）：小論文または英語・面接

B方式（一般入試）：資料（学部成績・クラブ活動・ボランティア活動など）・面接

- 奨学金など：初年度は入学試験、次年度からは学年成績の上位者2割程度を対象に、授業料・施設設備費の各半額を免除する制度があります。



遠隔教育への取り組み



～海を越えてコミュニケーションスキルを学ぶ～

平成15年度 後期より、本学では遠隔授業を中心とした新しいプログラム「Distance Education Program」を開設しました。受講者はキャンパスの枠を越えて海外や国内の教員や著名人の講義を受けられるなど、従来では不可能だった学習環境を実現しています。

ここでは、これに先立ち平成15年度 前期に本学で初めての試みとして実施した遠隔授業をご紹介します。

初めての試み

Dr.リトル（ホノルルコミュニティカレッジ：以下「HCC」とする）によるパブリックスピーキング能力向上に着目した「Communication Skills」は、教員と学生がその距離を越え、スクリーンを通してコミュニケーションを図る遠隔授業です。ハワイに住むDr.リトルが、新しい技術を利用して、本学キャンパスにいる学生に授業を行いました。

しかし、この授業には決して複雑な機材を取り入れているわけではありません。既製の商品を利用しただけのものです。

Dr.リトルはE-mail以外のコンピュータの経験がほとんどなかったのですが、HCCのメディアセンターの協力を得て、ウェブカメラを自宅に取り付け、遠隔教育が始まりました。

この授業においては、遠隔技術だけでなく、本学が提供しているネットワークサービスも大いに役立ちました。「教育支援システム『Caddie』」に、授業で使ったホスピタリティ関連用語を学習するための教材データを格納し、学生はこれを復習に利用したのです。「教育支援システム『Caddie』」とは、学生や教員が学内外を問わず、どこからでもアクセスでき、授業内容や授業関連情報を閲覧できるシステムであり、学生に自発的な学習環境を提供するものです。



学生の反応

当初、学生は、本当に遠隔授業がうまくいくのか不安な気持ちのまま授業に臨んでいました。コミュニケーション上の不都合という心配を抱いていたのですが、ほとんど障害もなく、スムーズに授業が進められました。

新たな自分を探し求めて

学生は、自分たちが遠く離れたハワイにいる先生とコミュニケーションを取っているのが不思議でもあり、そのような授業に参加していることが信じられないという様子でしたが、最後まで授業をやり遂げたことで、目標を達成したという喜びと自信に満ちた表情を浮かべていました。

学生たちは、この遠隔授業を経験したことで学習へのモチベーションが高まり、さらに遠隔授業を切望し、ほぼ全員が平成15年度 後期に新しく開設された「Advanced (上級) クラス」の履修を決めました。

教員の反応

Dr.リトルの授業ではインターアクション（相互関係）が重要視されました。距離があるとはいえ、Dr.リトルは学生たちとお互いに分かり合うにつれて、より深く暖かい関係を築くことができました。学生たちの表情は次第にほぐれて明るくなり、Dr.リトル自身も指導することを心から楽しんでいました。

指導する教員が遠くにいるマイナス点を埋め合わせるには、学生、教員、TA（ティーチング・アシスタント）そして授業にかかわるすべてのスタッフの協力が不可欠であり、そのチームワークによって一つの授業を築きあげることができました。

この授業において、Dr.リトルは細部まで神経を配りながら、通常のパブリックスピーキング授業を少し易しくした内容から始めました。指導に当たっては、常に受講者の英語力を念頭においていましたが、学生たちの授業への真摯な姿勢のおかげで英語力は全く問題になりませんでした。授業が終了するころには、学生たちは素晴らしいイングリッシュスピーカーになっていたのです。

遠隔教育の未来

本学初の遠隔授業が成功に終わったことで、平成15年度 後期はこのプログラムを前期と同一内容の「Basic (基礎) クラス」と新たに開設した「Advanced (上級) クラス」という2クラスへと拡大しました。「Advanced (上級) クラス」では、より「ホスピタリティ」関連の内容を深め、さらなるコミュニケーションスキルの上達を目的としています。

このように世界中の素晴らしい教員の授業を可能にする遠隔教育は、学生や学内の教員にとって非常に素晴らしい学習・教育方法だと考えられます。特に、今回のように日本人学生への指導経験が豊富なDr.リトルによる授業は効果が大きかったといえます。

今後は国内外の著名な講師による遠隔講義を開設することで、学生の学習環境の可能性をさらに拡大していく予定です。



TA 工藤 泰子 非常勤講師
DEC (Digital Education Center) 中島 康二・J.D. シェーフ

— 座談会出席者 — (順不同)

国際学部	森田 劭	教授 国際センター所長(司会)
流通科学部	矢野 公大	ケンブリッジ大学夏期研修
外国語学部	鈴木 和馬	トリア大学夏期研修
国際学部	田村 文子	セント・トーマス大学夏期研修
国際学部	松田 和也	ニュージーランド・インターンプログラム
国際学部	白川 沙絵	オーストラリア・インターンプログラム

【司会】 本日はこの夏に海外へ語学研修・インターンプログラムに参加されたかたがたに、お話を伺いたいと思っています。まず、どうして参加しようと思ったのか聞かせてください。



司会
森田 功
国際学部 教授
国際センター所長

【松田】 僕は、夏休みになるといつも家でゴロゴロしてばかりだったのですが、もう3年次生ですし、思い切って行ってみようと思い参加しました。プログラムの内容にも興味がありましたし……。

【矢野】 僕は英語力を試したいし、イギリスに行きたいと思ったからです。

【白川】 私はいつも海外には家族と一緒にに行っていたのですが、今年是一人で行ってみようと思い、参加しました。

【鈴木】 来年、交換留学でトリア大学に行きたいと思っていて、国際センターが発行している「PHOENIX」という機関紙に「事前に短期研修に参加するとよい」とあり、行っておいたほうがよいと感じたからです。

【田村】 私はクラブばかりしていて、今まで海外に行ったことがなかったのですが、国際学部ですし、一度は行ってみたいと思い参加しました。

【司会】 それでは、たくさんのプログラムがある中で、どうしてそのプログラムを選ばれたのでしょうか。

【田村】 私はセント・トーマスの語学研修に行ってきたのですが、これは4週間ある中の半分がホームステイとい

う行程になっていたの、すごく近いところで異文化を体験できるのではないかなと思って。

【白川】 私がこのプログラムを選んだきっかけは、去年の4月にオーストラリアから留学生を受け入れ、日本語を教えたりして打ち解け合ったことと、高校生のときに海外研修でオーストラリアに行き、すごく居心地のよい国だと思ったからです。また、現在日本語教員養成課程を受講しており、日本語教師アシスタントを体験したかったからです。



白川 沙絵
国際学部 1年次生
インターンプログラム
スクールインターン
(オーストラリア)

【矢野】 イギリスへ夏期研修に行こうと思ったのはビートルズが好きで、アルバムジャケットにも使用された「アビーロード」を実際に渡ってみたいと思ったのがきっかけでした。

【松田】 僕は、高齢者の介護やお手伝いのボランティアをしてきたのですが、祖父が日本でそのような施設に入っているのと、ラグビーが好きなので、ニュージーランドを選びました。

【司会】 研修中に親しい友人はできましたか。

【矢野】 3週間という短い期間でしたので、親しくなった人はあまりいませんが、ヘルパーをしてくれたかたたちとは、今もメール交換をしています。

【司会】 白川さんはオーストラリアに一人いらっしゃるんですね。

【白川】 はい、私は研修中に誕生日を迎えたのですが、ホストファミリーにメルボルンに友達がいると話したら、誕生日に呼んでくれて、水族館へ連れていってくれました。それに、日本語教師のアシスタントをしていたので、生徒たちと仲良くなりました。

【田村】 10月から交換留学できている留学生2人と、現地でも今でも仲良くしています。あと、ホームステイ先に韓国から留学にきている男性がいて、その人と仲良くなりました。休みの日などもホストファミリーは子どもが小さくて、あまり外には出れないような感じでしたが、その留学生の人とよく遊びに行きましたね。

【松田】 親しい友人はたくさんできました。少し平均年齢が高く、70歳〜80歳のかたがたですが……（笑）。それと、ホームステイ先にブラジルとロシアの留学生がいて、その二人とはいつも一緒にいました。そのほか、バブでラグビーの試合を見ていたときに知り合った現地の人と、毎日のようにラグビーやサッカーをして遊びました。



松田 和也
国際学部 3年次生
インターンプログラム
介護ボランティア
(ニュージーランド)

【鈴木】 僕も今、交換留学で本学にきている留学生と現地で知り合い、仲良くしています。あと、仲良くなったアメリカ留学生と一緒にプールへ行ったりしました。

【司会】 次に研修中に自分が異文化の中にいると感じたことは何かありますか。

【松田】 2日目ぐらいまでは、少し寂しかったですね。言葉もうまく通じないですし、洗濯とかもどうしたらいいのかわからないし。シャワーも5分程度で終わらないとだめなんです。でも、ニュージーランドの人たちのほうが日本人よりもずいぶん温かく感じました。でも、食事は塩とこしょうでしか味付けしていなくて、合いませんでしたね。

【鈴木】 ヨーロッパに限ったことじゃないと思うのですが、道路に面したところにパラソルを広げて、コーヒーを飲んだりするオープンカフェをよく見掛けました。日本ではあまり見られない光景で、とても楽しそうに見えました。それに、ビアガーデンのような店も至る所にあり、すごくうやましかったですね。



鈴木 和馬
外国語学部 2年次生
トリア大学
夏期研修
(ドイツ)

【白川】 オーストラリアに行ったのは2回目なのですが、前に行ったときはほとんど日本と変わらない食生活でした。しかし、今回行ったところでは、にんじんを生で食べるのです。びっくりしたのですが最後には慣れて、「郷に入っては郷に従え」ということわざを思い出しました。

【田村】 いちばん違うと感じたのが、ミネソタでした。朝歩いていたら、全然知らない人でもみんなが挨拶してくれ、日本ではあまり見掛けない光景だと感じました。

【矢野】 レストランに行ったときに、スパゲティを注文し、音を立てて食べてしまったんですよ。そうしたら、周りの人に注目されました。「ああそうか、日本と全然違うな」と感じました。【松田】 付け加えたいのですが、いちばん強く異文化を感じたのは、たばこのマナーなんです。ニュージーランドではどんな建物でも建物内は絶対に禁煙なんです。レストランでもバブでもオフィスでも、どこでも禁煙です。そして、たばこを吸う人は、みんなが必ず携帯用の灰皿を持ち歩いていたので、マナーがよかったと感じました。

【司会】 オーストラリアはどうでしたか。

【白川】 私の周りにいる人は、だれもたばこは吸わないようです。

【司会】 ほかの国はどうでしたか。短期間でずから注意していないとわからないですけど……。

【矢野】 イギリスは比較的甘いようでした。規則とか吸ってはいけない場所というのはあまりありませんでした。

【司会】 では次に、研修中に得たことを今後の人生でどのように生かしたいですか。研修中に「これだ!」とひらめきがあったり、研修に参加したことによって、自分自身が変わったようなことがあれば、お話しいただけますか。

【矢野】 ふだんやらない自炊をしたり、パーティーで「サンタルチア」を歌ったりいろいろしました。日本に帰ってきてからもすごく積極的に送れるようになったと思います。

【田村】 アメリカで人と約束をしたときに急に予定をキャンセルされたことがあって……。

【司会】 アメリカですか。

【田村】 そうです。アメリカのかたが突然約束を断ってきたのですが、その人はあまり気にしていない。日本人は気にすると思うのだけど……。そういうのも含めて何か日本人として日本人のことを考えました。日本人だからこうなんだということを考えるようにはなりました。異文化というのを自分の肌で感じました。アメリカでの経験を通じて、今では考え方が日本人としての枠を越えて考えられるようになったと思います。



田村 文子
国際学部 4年次生
セント・トーマス大学
夏期研修
(アメリカ)

【白川】 私は研修中、周りに合わせようと思っていたのですが、週末、ホストファミリーの人に「どこに行きたい?」と聞かれ答えられずにいたら、「あなたが決めて」と言われたんです。「私たちはあなたが喜ぶことをしてあげたいから、あなたが決めて」と言われ、自分をしっかり持っておかないといけないんだと感じました。

【松田】 僕は、人間はどこにいても体一つあれば、何とでも生きていけるということを強く感じました。そして、これからも介護の仕事にかかわってきたいと思いました。ニュージーランドのほうが介護や福祉ではるかに進んでいるから、いいところを取り入れて日本独自の介護や福祉を確立したらと思います。

【司会】 それでは最後にこれから海外研修や海外インターンプログラムに参加したい、興味があるという学生のために、アドバイスを一言お願いします。

【鈴木】 僕個人的には楽しいと思えることが多かったです。洗濯機の型が違ったり、そういうことを含めて困ることもありました。貴重な体験ができるので、ぜひ参加してほしいと思います。

【松田】 僕は海外に興味があるのだったら、深く考え込まずに勢いで行ったほうがよいと思うんです。現地に行ったら向こうで何とでもなるし、日本人を見直すこともできる。「虎穴に入らずんば虎児を得ず」という感じで。だから、少しでも行きたいと思っている人は、どんどんチャレンジしてほしいですね。いろんなところへ、若いうちに行ったほうがいいんじゃないかと改めて感じました。

【白川】 私が参加した日本語教師プログラムは、日本語教師に限らず教師になりたいと思うかたは、参加したらいと思います。アシスタントをして、教師という仕事は大変だと改めて感じました。私がお手伝いしたことを含めて、ふだんはすべて先生が一人でこなしているんだなと思って、教師ってすごい仕事だと改めて実感しました。教師という仕事に少しでも興味がある人に参加してほしいです。

【司会】 そして、一層教師になりたいかな。

【白川】 そうですね。

【田村】 松田君と同じような感じがですが、少しでも興味があるのならやらな

いで後悔するより、やって後悔したほうがよいと思います。それに多分、行って後悔はしないと思うんです。どんな経験でも後から何かしら自分のためになると思うので、少しでも興味があれば行ってみたらいいと思います。

【司会】 研修プログラムの場合には、期間はそれほど長くはないので、積極的に参加してみたいかな。

【矢野】 私も同じように思います。行ってみると、日本人のよさも分かるだろうし、日本は世界一だと思いました。日本っていいなと思います。



矢野 公大
流通科学部 2年次生
ケンブリッジ大学
夏期研修
(イギリス)

【司会】 海外研修に参加することによって、日本っていいなと感じたことは非常に積極的で、おもしろい意見ですね。

昔は外国へ行きますと、「外国はいいな」というふうに思ったものですが、今日、皆さんがたのご意見をお伺いしていますと、「日本っていいな」というふうに海外へ出て感じておられるわけですね。

最後になりますが、皆さんが非常に貴重な体験をしてられていることが分かりました。海外研修というのは、もともと我々が外国のことを勉強しようと思って行くのだと私は思います。それにプラスして日本のよさも分かったということは、素晴らしい学生時代のひとときを過ごすことができたのではないのでしょうか。

本日は長い時間、どうもありがとうございました。



CAMPUS LIFE

自分に掲げた二つの目標



経済学部 4年次生
吉武 和治

SPOT

私は、小学3年生からサッカーをしています。そのころは、友達がいるから一緒にするという単純な動機でした。しかし、中学・高校と横浜マリノスというJリーグチームの下部組織でプレーするうちに、真剣にプロを目指すようになりました。

しかし、高校3年生の春に「今の実力ではプロは無理」と厳しい判断を下されました。しかし、自分の中でプロへの夢は諦めきれず、大学に進学してもう一度挑戦しようと思い、どの大学に進学するかを迷い、悩みました。高校までは何かと自分に甘えていて、すぐに妥協してしまう自分がいました。そこで親と相談し、環境を変えるために、関東以外の地域でサッカーをすることに決めました。

私はいろいろと大学を回りました。そして、監督、コーチ、すばらしい環境のトレーニングルーム、芝生のグラウンドなど、サッカーをするには十分すぎる環境の大阪学院大学を選びました。

私が入学した当時、関西2部ブロック5位というチームで、まだまだサッカーにおいては関西でも無名に近いチームでした。しかし、私はしっかりと目標を持って活動すれば結果は出ると思い、入学と同時に個人の目標、チームの目標の二つを掲げました。個人としては「ユニバーシアード代表」、チームとしては「1部昇格、定着」と他人から見れば、「何を考えてるんだ」と思われるかもしれない高い目標ですが、自分にはこのくらいの目標を持って取り組まないと「何のために大阪まできてサッカーをしているのか。」「ここで結果を残さないとプロになれるわけない!」と思い、自分に妥協することなく無心で取り組みました。

しかし、現実はその簡単ではありませんでした。チームはなかなか勝てず、自分も試合に出る機会すらありませんでした。歯がゆい気持ちでいっぱいにくじけそうになったときに、父からの「何のために大阪まで行ってサッカーをしているんだ」という言葉を思い出し、初心に戻り頑張りました。私が2年次生になると新しいコーチを迎え、1部との入替戦を戦うチームへと変わり、また、私自身も試合に出て、活躍の場が増えました。そして、リーグでの活躍が認められ、関西選抜に選ばれました。関西選抜で臨んだ全国地域大会で優勝し、私自身も大会の優秀選手に選ばれました。

このことが私の中で大きな自信となり、今までやってきたことは間違いではなかったと思えるようになりました。

3年次生の8月に全国大会での実績を評価され、大阪学院大学サッカー部で初のユニバーシアード代表候補に選ばれ、韓国遠征にも参加し、個人ではアピールすることができましたが、もう一つの目標である「1部昇格、定着」と

いう目標については、1部リーグに昇格はしたものの定着することはできませんでした。

4年次生の春、キャプテンとして迎えた2部春季リーグでは、去年の悔しさを忘れることなく挑み、入替戦の末、1部に復帰することができました。

ラストシーズンとなる秋季リーグでは、3勝6敗で9位という不本意な成績ではあったものの、まだ2部との入替戦が残っているので、しっかりキャプテンとしてチームをまとめ、一丸となって1部に残すことが、私の最後の役目だと思っています。また、サッカーで成長したことが、今後の私の人生に忍耐力や向上心など大きく反映されていくと思います。



CLUB ACTIVITIES

CLUB

ACTIVITIES

吹奏楽部

「吹奏楽」と聞いてみなさんはどのようなイメージを持たれますか？地味・暗い・堅いといった感じでしょうか。しかし、決してそのようなことはありません。だれもが知っているポップスやジャズの曲、一度は聴いたことのあるオーケストラの曲を演奏、そのほかにも聴くだけでなく、楽器を演奏しながら動き形を作る視覚的にも楽しめるマーチングもあります。

私たち吹奏楽部は、吹奏楽コンクールと定期演奏会をメインに部員43名で活動しています。ほかにも硬式野球部・アメリカンフットボール部の試合応援、卒業式・入学式・岸辺祭など校内での演奏、約20の他大学吹奏楽部員と一つのバンドを組んで行う合同演奏会・大学バンドフェア・御堂筋パレードなど、積極的に参加し幅広く活動しています。

今年の大阪府吹奏楽コンクールでは銅賞という残念な結果でしたが、このときの悔しさや経験を生かし、現在12月7日(日)の定期演奏会に向けて日々練習に励んでいます。練習している姿を学内で見掛けるかたも多いと思いますが、大きなホールでの演奏は、また一味違う印象を持てただけだと思います。吹奏楽を知っているかただけでなく、今まで吹奏楽とは無縁だったかたもイメージを一新して私たちと一緒に楽しみませんか。



第30回 定期演奏会 2002年12月14日 アルカイックホール



外国語学部 英語学科
4年次生
有山 奈津子

<< 第31回 定期演奏会 >>

日時：12月7日(日)
開場18:00 開演18:30

会場：尼崎市総合文化センター
アルカイックホール
(阪神尼崎駅下車徒歩約10分)

内容：Ⅰ部 Pops Stage
(ポップス・ステージ)
Ⅱ部 Stage Marching Show
(マーチング・ショー)
Ⅲ部 Symphonic Stage
(シンフォニック・ステージ)

入場無料(チケットがなくとも入場できます)。

詳細が決まり次第ホームページでお知らせ致します。

<http://www.geocities.co.jp/Hollywood-Theater/6102/>

皆様のご来場を部員一同心よりお待ちしております。



CLUB SCHEDULE

CLUB

SCHEDULE

体育会系クラブ

クラブ名	日 程	行 事 ・ 大 会 名	場 所
剣道部	12月14日(日)	関西学連剣友剣道大会	大阪中央体育館
ゴルフ部	12月2日(火)～5日(金)	関西学生男子マッチプレー選手権 関西学生女子マッチプレー選手権	ザ・カントリークラブ
ラクロス部	12月	関西学生ラクロス新人戦	未定
陸上競技部	平成16年2月12日(木)	第4回学連記録会	大阪市長居公園周回コース

文化会系クラブ

クラブ名	日 程	行 事 ・ 大 会 名	場 所
アメリカ民謡研究部	12月12日(金)	秋季定期演奏会	光明アムホール
E.S.S	12月	大阪学院大学杯スピーチコンテスト	学内
軽音楽部	12月11日(木)	第31回 定期演奏会	ラズベリーホール
茶道部	12月12日(金)	秋季茶会	1号館和室
	平成16年1月	初釜	1号館和室
書道部	平成16年2月	関西学生書道連盟展	未定

独立系クラブ

クラブ名	日 程	行 事 ・ 大 会 名	場 所
混声合唱団 Chorkreis	12月12日(金)	第3回定期演奏会	吹田メイシアター中ホール
吹奏楽部	12月7日(日)	定期演奏会	尼崎市総合文化センター アルカイックホール
放送局	12月	放送祭	学内
	12月6日(土)・7日(日)	第20回 NHK全国大学放送コンテスト	京都市生涯学習総合センター

※現在未定の行事・大会につきましては、随時詳細が決まり次第ホームページでお知らせします。
http://www.osaka-gu.ac.jp/club/cl_frame/index.html

学生相談センターだより 心を耕してみませんか？

カウンセラー 中村 慶子

何か問題にぶつかったとき、「白か黒か」「右か左か」とすぐに答えを出さないと落ち着かないような気持ちになったことはありませんか。その答えを出すのに「いつでも、絶対に、だれもが」といった言葉で考えてしまうことはありませんか。また、実際にはそれほど悪いことは起こっていなくても、先のことを考えると不安に感じるような気持ちになったことはありませんか。

もし、こんな状態が長く続いているとすれば、心は緊張感や不安感で疲れているのかもしれないかもしれません。今回はその不安感や緊張感を和らげたり、持ちこたえたりするために「心を耕す」という考え方を提案したいと思います。

高校までの学生生活は、クラスや担任の先生というはっきりとした枠組みのもとで、与えられたことをこなしていく側面が多かったと思います。でも大学では、どの講義を受講するか、履修科目を決めることから始まって、気の合う友人や仲間に出会うこと、クラブやサークル、アルバイトをどうするか、様々な場面で自分で考え、自分で決めていかなければならないことがたくさんあります。それは自由に自分の力で新しい世界を切り開いていく、わくわくする体験だと思います。でも一方では、相当エネルギーのいる仕事でもあります。

また、そのような現実的で具体的な問題ではなく、漠然とはしているけれど「自分はどんな人間なのか」「これからどう生きていこうとしているのか」などの人生のもっと大きな課題に直面することもあるでしょう。答えはそう簡単に出るものではなく、長い時間を必要とする場合も出てきますし、その間、苦しみを伴うことも避けられないでしょう。

いずれにしても、今まで以上に大学生活では、「自己判断」、「自己決断」を求められることが多くなっていると思います。そんなとき、心が強い緊張感や不安感にさらされていると、早くよい答えを出そうと焦ってしまったり、いてもたってもいられない気分になったり、また場合によっては、胸がドキドキしたり、息苦しくなったり、身体がSOSを出すことがあるかもしれません。

田畑から豊かな実りを得るためには、まず、鍬や鋤で土壌を「耕す」ことから始めます。そうして、地面を柔らかくし、水や養分がしみ込みやすく発芽しやすい状態にして、種子をまきます。いくら肥沃な大地で、立派な種子であっても、最初の「耕す」という仕事なしでは、望むような収穫を得ることはできません。

私たち人間の心も大地と同様です。疲れてこわばったままでは、養分を吸収し、実を結ぶことは難しくなります。大地を耕すように心を耕し、柔らかくしておきたいものです。そうしていると、心は落ち着きを取り戻し、何とかその場に踏みとどまることができたり、周囲の状況もよく見えるようになってきます。自分の考えもまとまり、アドバイスも取り入れやすくなります。

では、「心を耕すってどんなふうにするの？」と思われるかもしれません。多分、皆さんは意識しないままに、すでに試みていることがたくさんあると思います。落ち込んだとき、気分転換のための様々な工夫、音楽鑑賞、読書、旅行などもその一例です。また、話を聞いてもらって、気持ちが楽になったという経験はありませんか。「心を耕す」ためには、自分の思っていること、感じていること、考えていることを話すのはとても有効な手だてです。話をすることで、思ってもいなかった自分の気持ちに気づいたり、発想の転換があったり、心は深く広く耕されていきます。コミュニケーションを、いま一度「心を耕す」という視点で考えてみてください。学生相談センターはそのお手伝いができる場所です。お待ちしております。

相談したいときは

- ◆ 直接、学生相談センター「3号館6階」まできてください。
- ◆ 保護者や友人と一緒に、また保護者のみでも相談できます。
- ◆ 電話での相談や予約も、受け付けています。
- ◆ 相談内容の秘密は厳守されます。

<相談時間>

学業・進路・就職・生活全般 月～土曜日 9:00～17:00
心理相談 月～土曜日 10:00～16:00

※日・祝祭日および事務休業日はお休みです。1回の相談時間は、原則として1時間以内ですが、継続して利用できます。どんなことでも結構ですので、気軽に学生相談センターを訪ねてください。

学生相談センター受付電話 (06) 6382-0266

CAMPUS NEWS DIGEST

新役職者〔2年任期〕



経済学部長
白川 雄三 教授



法学部長
本間 義信 教授



外国語学部長
石田 久 教授



大学院部長
中西 正明 教授



商学研究科長
石田 三郎 教授



経済学研究科長
竹岡 敬温 教授



法学研究科長
南川 諦弘 教授



経営実務科長
奥井 脩二 教授



国際文化学科長
藤原 哲郎 教授

人事

新任〔平成15年10月1日付〕



企業情報学部
國定 浩一 教授
担当科目
経済学特別講義Ⅰ



国際センター
R.P. ストラシンスキー
客員助教授
担当科目
英会話Ⅳ・Ⅵ、スピーキング



国際センター
F.F. タマカワ
客員助教授
担当科目
英語基礎会話Ⅰ、英会話Ⅱ



国際センター
L.H. ヒガシ
客員助教授
担当科目
英語基礎会話Ⅰ、英会話Ⅰ・Ⅱ



国際センター
J.A. ビューロウサーン
客員講師
担当科目
英語基礎会話Ⅰ、
メディア英語、英会話Ⅳ・Ⅵ

退職

〔平成15年7月4日付〕

経営科学部 渡辺 貞雄 教授

〔平成15年9月30日付〕

法 学 部 松並 潤 助教授
国際センター J.F. スミエ 客員助教授
K.A. マウ 客員助教授
H.A. サルバドル 客員講師



CAMPUS NEWS DIGEST

オープンキャンパス



〔6月22日(日)・7月21日(月・祝)・8月3日(日)・8月24日(日)・9月7日(日)・10月5日(日) 2号館1階ラウンジ〕
オープンキャンパス2003は、入試概要説明会や教員による学部・学科説明、各種相談コーナーなど、来場者の日ごろの不安や疑問を解決するためのコーナーを設置したり、インターネット・パソコン体験コーナーや系統別ミニ講義、学食ランチ体験など、学生生活を満喫できるイベントを実施しました。来場された皆さんは、体験コーナーに参加するなどして、ひとときの学生生活を楽しむ笑顔にあふれ、また、担当者と相談することで不安が解消されたようでした。今年度も、多くのかたがたを迎え、大盛況のうちに終えることができました。

ラグビーワークショップ



〔7月27日(日) 千里山グラウンド〕
本学ラグビー部の特別アドバイザーであり、英国ケンブリッジ大学クイーンズカレッジのラグビーコーチであるスティーブン・ロジャース氏を講師として、高校ラグビーのより一層のレベルアップを目指すことを目的としたラグビーワークショップを開催しました。
参加した高校生たちはラグビー発祥の地イングランドのコーチによる直接指導に最初は緊張しながらも、本場の練習法やラグビーに対する考え方・情熱に刺激されたようで、意欲的な姿勢で練習に励んでいました。

ゴルフワークショップ



〔第1日目：7月12日(土) 本学ゴルフ練習場
第2日目：7月28日(月) 能勢カントリー倶楽部〕
本学ゴルフ部監督の平野勝之プロによるゴルフワークショップを開催しました。第1日目は打球練習を中心にグリップ・アドレスの基本を学び、さらに本学アスレチックトレーナーからゴルフのためのストレッチ・筋力トレーニングの講習がありました。第2日目は能勢カントリー倶楽部において実践的なラウンドレッスンが行われ、ジュニアゴルファーたちはゴルフの楽しさや、ゴルフを通じてエチケット・マナーを学ぶことの大切さ、さらに何事にも向上心を持たなければならないことなど多くのことを学びました。

PHOENIX CONFERENCE 2003



〔7月30日(水)～8月5日(火)〕
「PHOENIX CONFERENCE 2003」と題し、英語教育に携わる教員を対象とした「第7回 ELLCプログラム英語教育ワークショップ」、教育の情報化が進む中で情報コーディネーター養成を目的とした「第5回 MELOPワークショップ」、マルチメディアを使って創作物語をつくる「第4回 高校生のためのMELOPワークショップ」を開催しました。国際化と情報化をキーワードにしたこのカンファレンスは生徒の学習意欲を引き出すための具体的な提案になるものとして、先生がたに大変好評でした。

デジタルストーリーテリングセミナー



〔8月6日(水)・7日(木)〕
英語教育にストーリーテリングの導入を広めるために、英語教員を対象とした第1回デジタルストーリーテリングセミナーを開催しました。英文の物語をパソコン(PowerPoint)で制作。発表の際の表情や身ぶり、間の取り方などの表現指導もありました。また、ストーリーテリングを教材にした授業展開など魅力ある授業作りについて熱心に議論がなされました。

前期卒業式



〔9月25日(木) 5号館地下2階アトリウム〕
平成15年度 前期卒業式が執り行われ、大学168名、大学院3名、短期大学3名が卒業しました。
学士・修士および博士の学位記ならびに卒業証書が一人ひとりに授与され、これから社会へ羽ばたく卒業生にお祝いと励まし、そして社会人としての心構えなど、晴れの門出に際してのはなむけの言葉が贈られました。

学部講演会



〔10月17日(金) 2号館地下1階02教室〕
元りそな総合研究所取締役会長で、熱狂的阪神ファンの國定教授による学部講演会「阪神優勝の経済効果 関西活性化のために」を開催しました。今年の阪神タイガース優勝による経済効果と、低迷する関西経済にその効果が今後どのような影響を与え、活性化させていくのかについて講演しました。大阪における今年最大の話題に、学生は熱心に耳を傾けていました。

2003 フェニックスフェスティバル「古典芸能の夕べ」～大阪学院大学 薪能～



〔10月21日(火) 体育館 特設舞台〕
観世流シテ方 大江家七代御当主 大江将重 師のご支援を賜り日本の伝統芸能である「能」を薪能形式で執り行いました。十周年を迎える記念すべき開催に伴い、お二人の「人間国宝」茂山千作 師、片山九郎右衛門 師にご出演いただき、その至芸をご披露いただきました。残念ながら雨天となり、体育館に会場を移しての開催となりましたが、来場されたかたがたは静寂の中、映し出される幽玄の世界に心酔し、芸術の秋を堪能されたようでした。

第42回 岸辺祭



〔10月24日(金)～27日(月)〕
「衝撃」をテーマとして今年も岸辺祭を開催しました。秋晴れの中、サンクンプラザにて開会式が盛大に行われ、原岸辺祭実行委員長のあいさつにつづき、白井総長をはじめとする来賓からお祝いの言葉がありました。学内では模擬店・学術祭・展示祭・音楽祭・「BREATH」のLIVEコンサートなど様々な催しが繰り広げられ、岸辺祭に学生たちは衝撃を受け、さらにその衝撃が日々の大学生活に大きな影響を与えてくれることでしょう。

第2回デジタル絵日記コンテスト



〔11月1日(土) 2号館地下1階04教室〕
ストーリーテリングをベースとした英語教育の一環として開催している「デジタル絵日記コンテスト」。第2回目となる今回は、高校生の参加対象を大阪府下に広げ、さらに教員部門も設けたことにより、約500作品の応募がありました。
授賞式では、「空」について感じる気持ちを綴った「Sky Album」を制作した江川亜実さん(吹田東高)が生徒部門Platinum Awardを受賞するなど、9名の受賞者が選ばれ、それぞれの作品を発表しました。授賞式に出席できなかった教員部門福田記子先生、西田由佳先生(ともに大阪国際大和田中・高)の表彰では、オンラインでコメントをいただきました。
各受賞者からは、「創作する楽しさ」「英語を学びたい気持ち」「テクノロジーへの興味」が生まれ、今回の参加を次のステップへつなげていきたいという言葉が聞かれました。それは、このコンテストを開催する大きな目的の一つが達成されていることが実感できるものでした。
本学では、これからもクリエイティビティを喚起するこのコンテストを開催していきます。

INFORMATION

November ~

庶務課

イルミネーション

12月1日(月)～12月25日(木) 17:00～20:00

場 所：5号館前・17号館前

問合先：庶務課（渉外係）



2003 フェニックス フェスティバル ～LATIN MUSIC HEARTY CONCERT～

12月11日(木) 18:00 開場 / 18:30 開演

場 所：5号館地下2階アトリウム

出 演：野上圭三、パチャママ

入場料：無料

問合先：フェニックス フェスティバル係 Tel(06)6381-7122

対 象：保護者・在学生・一般市民



国際センター

海外提携大学から次の8人が留学しています。(平成15年10月～平成16年7月)

セント・トーマス大学から



Matthew E. Grunewald
(マシュー・グレンウォルド)
専攻：経済学
所属：経済学部



Te-Hsum Lin
(テスン・リン)
専攻：心理学
所属：国際学部

トリア大学から



Julius Brandt
(ユーリウス・ブランド)
専攻：法学
所属：法学部 法律学科

オルレアン大学から



Jean-Baptiste Maurice
(ジャン＝バティスト・モーリス)
専攻：英語/日本語
所属：国際学部



Lucie M. Rochevill
(ルシー・ロシュビル)
専攻：英語/日本語
所属：国際学部

カリフォルニア州立大学ロングビーチ校から



Ilana Hecht
(イラナ・ヘクト)
専攻：国際学
所属：国際学部

ハワイ・パシフィック大学から



Micheal W. Blodgett
(マイケル・ブロジエット)
専攻：国際学
所属：国際学部



Shiuan-Hong Lin
(シュアンホン・リン)
専攻：マーケティング
所属：国際学部

就職センター

就職センターでは、年間を通して様々な行事を行っています。今後も、本格的な活動を控える大学3年次生・短大1年次生のために実践的な講座を予定していますので、積極的に参加してください。

11/27(木)・12/1(月)～6(土)	16:10～	第5回就職ガイダンス
-----------------------	--------	------------

面接試験の攻略法

何を準備しておく？ 企業の思惑は？ マナーは？ 目からウロコの面接講座、必見必聴！

12/9(火)	16:10～	就職ガイダンス 特別編 -女子学生対象-
---------	--------	----------------------

女子学生必勝講座

女子学生が厳しい就職戦線を勝ち抜くためには？ 男子よりもハードルの高いといわれるマナーを解説！

12/18(木)	16:10～	就職ガイダンス 特別編 -Uターン希望学生対象-
----------	--------	--------------------------

Uターン就職必勝講座

Uターン希望学生の必勝ガイダンス。採用活動を早期化する地元企業に対応するには？

1/27(火)	16:10～	第6回就職ガイダンス
---------	--------	------------

学内会社説明会に参加しよう！

学内会社説明会の参加手順を説明。勝負は第一印象。就職活動モードで臨もう！

2/16(月)～20(金)・23(月)～27(金)	10:00～	学内会社説明会
---------------------------	--------	---------

参加するしかない！

企業の人事担当者が来学され会社説明を行う就職活動の一大イベント。毎年この説明会参加者から内定者が出ている。このチャンスを見逃す手はない！

3/1(月)～5(金)	10:00～	公務員説明会
-------------	--------	--------

公務員希望者必見必聴！

各公務員の採用担当者から採用試験対策や採用スケジュールについて説明！

TIMETABLE

12月25日(木) 冬期休暇開始(大学院)〔至1月7日(水)〕

26日(金) 冬期休暇開始(大学・短期大学)
〔至1月7日(水)〕

1月8日(木) 後期授業再開(共通)

21日(水) 月曜日振替授業日(大学院)〔至22日(木)〕
23日(金) 後期補講(大学院)〔至24日(土)〕

1月26日(月) 後期授業終了(共通)

27日(火) 後期補講(大学)〔至29日(木)〕
後期補講(短期大学)〔至28日(水)〕

学年試験開始(大学院)〔至2月12日(木)〕

29日(木) 後期試験開始(短期大学)〔至2月10日(火)〕
30日(金) 後期試験開始(大学)〔至2月19日(木)〕